

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階					
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質							3.2
Q1 室内環境			0.40		-		3.4
1 音環境		3.0	0.15		-		3.0
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40		-		
1.2 遮音		3.0	0.40		-		
1 開口部遮音性能		3.0	0.60		-		
2 界壁遮音性能		3.0	0.40		-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-		-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-		-		
1.3 吸音		3.0	0.20		-		
2 温熱環境		3.0	0.35		-		3.0
2.1 室温制御		3.0	0.50		-		
1 室温		3.0	0.38		-		
2 外皮性能		3.0	0.25		-		
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38		-		
2.2 湿度制御		3.0	0.20		-		
2.3 空調方式		3.0	0.30		-		
3 光・視環境		3.8	0.25		-		3.8
3.1 昼光利用		4.2	0.30		-		
1 昼光率	昼光率 \geq 2.5%	5.0	0.60		-		
2 方位別開口			-		-		
3 昼光利用設備		3.0	0.40		-		
3.2 グレア対策		4.0	0.30		-		
1 昼光制御	ブラインドと庇にて昼光制御している。	4.0	1.00		-		
3.3 照度	照度が500lx以上1000lx未満。	4.0	0.15		-		
3.4 照明制御		3.0	0.25		-		
4 空気環境		4.0	0.25		-		4.0
4.1 発生源対策		5.0	0.50		-		
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆を採用。	5.0	1.00		-		
4.2 換気		3.6	0.30		-		
1 換気量		3.0	0.33		-		
2 自然換気性能	自然換気有効開口面積が居室床面積の1/15以上。	5.0	0.33		-		
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33		-		
4.3 運用管理		2.0	0.20		-		
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50		-		
2 喫煙の制御		1.0	0.50		-		
Q2 サービス性能		-	0.30		-		3.4
1 機能性		3.2	0.40		-		3.2
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40		-		
1 広さ・収納性		3.0	0.33		-		
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33		-		
3 バリアフリー計画		3.0	0.33		-		
1.2 心理性・快適性		3.3	0.30		-		
1 広さ感・景観	事務室の天井高2.7m以上。	4.0	0.33		-		
2 リフレッシュスペース		3.0	0.33		-		
3 内装計画		3.0	0.33		-		
1.3 維持管理		3.5	0.30		-		
1 維持管理に配慮した設計	内装仕上げ:床面は防汚性の高い建材、塗装、コーティングを採用している。 内装設計:維持管理方法が大きく異なる床材を接近させていない。	4.0	0.50		-		
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50		-		
2 耐用性・信頼性		3.8	0.30		-		3.8
2.1 耐震・免震・制震・制振		4.6	0.50		-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	建築基準法に定められた50%増の耐震性を有する。	5.0	0.80		-		
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20		-		
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30		-		
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20		-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20		-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10		-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10		-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水SUS(C)、給湯SUS(C)、排水VP(B)。	4.0	0.20		-		
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20		-		
2.4 信頼性		3.0	0.20		-		
1 空調・換気設備		3.0	0.20		-		
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20		-		
3 電気設備		3.0	0.20		-		
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20		-		
5 通信・情報設備		3.0	0.20		-		

3 対応性・更新性			3.4	0.30	-	-	3.4
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高:3.9m以上。	5.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ	$0.1 \leq [\text{壁長さ比率}] < 0.3$	4.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.7
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.6
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.1
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI _m =0.66。	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEI _m] = 0.66	4.4	0.50	-	-	4.4
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水		節水コマに加えて節水型便器を採用。	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.2	0.60	-	-	3.2
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		ビニル床材、小便器(UFS900)	4.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体+軽鉄+仕上材のディールを採用。	4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0, GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用している。	4.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率=76%。	3.9	0.33	-	-	3.9
2 地域環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.5	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	適切な量のバイク・自転車置場及び駐車場を確保し、管理用車両の駐車施設も設置している。周辺道路の渋滞緩和対策は、車両出入口を警察車両と来庁者用車両に分けて、出入口幅も6.0mとしている。	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		-	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	